



新企画の「うどん何_gでしよう?」では、小学生を対象に指定された重さのうどんが残るように食べる大会(残ったうどんは、持ち帰って食べていただく)も開催され、2人が同量となり優勝を分け合いました。水風船キャッチも新企画で、二人一組となり、距離を広げながら水風船をキャッチするゲームは、ドキドキ感がありました。

今年のうどん祭りも多くのアトラクションや出店があり、町内外からたくさんの方に訪れていただきました。途中でうどんが品切れになるお店もありましたが、下川町の一大イベントである「しもかわうどん祭り」は大盛況のうちに終わりました。



8月30日、31日の2日間に渡り、にぎわいの広場を会場に「第22回しもかわうどん祭り」が開催されました。1日目は小雨模様の中で、2日目は天候にも恵まれた中で、町内外のうどん店が出店され、来場者は様々なうどんを食べ比べていました。

1日目は手延べうどんのつかみどり、下川商業高校の生徒によるよさこい、プルメリアによるフラダンスや若者たちによるダンスパフォーマンスが行われ、夜は今年初めて参加された風連舞による風連阿波踊り、下川溪流太鼓の迫力ある演奏が披露されたほか、しもりんを描いたパネルを載せた「こども神輿」に続き、うどんのオブリュエを載せた「どんちゃん神輿」では、観客からたくさん水をかけられ、会場は最高潮の盛り上がりを見せていました。

2日目はフリーマーケット、消防車両による放水体験、音楽演奏会などが行われたほか、下川商業高校バスケットボール部の運営によるバスケット3×3大会などが今年も催されました。

また、9年ぶりに復活した「うどん早食い競争二人羽織」では、ユニークな衣装をしたチームも出場し場内に笑いが起こりました。

